

北海道のヒグマとどう向き合うか？



撮影：坪田敏男

2024

5.25 (土) 14:00~16:00 (13:30開場)

お話 **坪田 敏男 氏**

(北海道大学大学院獣医学研究院教授)

要事前申込 定員120名(先着)

会場 札幌市中央図書館 3階講堂

対象 中学生以上の方

参加無料

申込方法 申込受付期間 4月25日(木)8時00分~5月16日(木)

【WEB 受付フォーム】

札幌市 お申し込み



<https://www.callcenter.city.sapporo.jp/sapporo/cc/web/formList.html>

上記 URL または左の二次元コードからアクセスし、必要事項を入力のうえお申し込み下さい。

必要事項:①代表者氏名(漢字+かな) ②年齢(参加者全員) ③参加人数(グループの場合は2名まで)
④代表者の電話番号

【札幌市コールセンター】※電話は混雑する場合があります。極力 Web をご利用ください。

TEL : 011-222-4894 (年中無休・8時~21時受付)

※個人情報は連絡に使用する場合があります。目的外の使用は行わず適切に管理し、保有する必要がなくなれば速やかに廃棄します。

北海道のヒグマとどう向き合うか？

近年、北海道ではヒグマの人里への出没が増えています。とくに札幌市や旭川市など市街地への出没が目立ちます。2023年は、ミズナラの堅果類(どんぐり)やヤマブドウなどの果実類の生りが悪く、夏場に加えて10月以降の出没も多くみられました。その結果、ヒグマによる人身事故が発生し、多くのヒグマが駆除されました。一方、ヒグマの興味深い生理や生態について一般市民に知られていないことも多いように思います。進化の中で、肉食から草食に食性を変えてきたために、冬季に極端に餌資源が不足するのを冬眠することで乗り切るようになりました。冬眠前には、冬眠中に必要なエネルギーを確保するために大量の体脂肪を蓄える必要があります。これらの生理や生態が人里への出没と大いに関係しています。今後北海道でヒグマとの共存を図っていくためには、彼らとどのように向き合えばいいのかを共に考える機会にしたいと思います。

講師紹介

坪田 敏男(つばた としお) 先生

1961年大阪市生まれ。北海道大学獣医学研究院博士課程を修了後、岐阜大学農学部獣医学科助手、助教授、教授(名誉教授)を経て2007年より北海道大学大学院獣医学研究院教授の現職。

専攻は野生動物医学、特にクマ類の繁殖と生理、生態研究がご専門。野生動物学専門医、獣医学博士、北海道大学総合博物館長。ヒグマの会会長を歴任している。

「サイエンス・フォーラム in さっぽろ」とは？

その道をきわめた科学者などが「ホットな科学の話題をやさしく・深く・おもしろく」をモットーに語ります。
休日の昼下がりや ちょっと有意義に過ごしてみませんか？

●不定期ですので、今後の日程は下記をご覧ください。

○冊子「イベント情報はこちらでチェック 札幌市からのお知らせ」に掲載。

市内郵便局、各区役所広聴係などで配布されています。

○地デジテレビのデータ放送による市政情報の発信(UHB8チャンネル)で配信します。

インターネットでは下記をご覧ください。

○札幌市中央図書館のホームページ「行事・展示のお知らせ」

○札幌市博物館活動センターのホームページ「イベント情報」



中央図書館



博物館活動センター

会場案内

札幌市中央図書館

中央区南22条西13丁目1-1 電話011-512-7320

●公共交通機関でお越しください

市電「中央図書館前」下車すぐ
じょうてつバス「南21条西11丁目」から徒歩7分



【主催】サイエンスフォーラム事務局 【共催】札幌市中央図書館、札幌市博物館活動センター